

平成26年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 アプライド株式会社
 コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 坂井 雅実

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	6,060	10.6	31		13		10	
25年3月期第1四半期	5,481	0.2	223		211		195	

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 14百万円 (%) 25年3月期第1四半期 197百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	8.10	
25年3月期第1四半期	144.86	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	11,439	3,081	26.3
25年3月期	11,810	3,105	25.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 3,003百万円 25年3月期 3,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		30.00		30.00	60.00
26年3月期					
26年3月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,500	3.1	15		20		13		10.06
通期	24,350	1.5	185		220		115		88.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	1,351,600 株	25年3月期	1,351,600 株
26年3月期1Q	96,398 株	25年3月期	96,398 株
26年3月期1Q	1,255,202 株	25年3月期1Q	1,351,202 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策への期待感から、為替は円安傾向で推移し、輸出企業を中心に業績改善の動きが見られましたが、欧州経済の低迷や中国の経済成長率の鈍化等による景気押し下げリスクもあり、依然として不透明感があり、本格的な景気回復には至っていません。

このような状況の中、当社グループは、商品・サービス・販売チャネルを重点項目に置き、法人顧客に対する展開を強力に推進し、売上の拡大と基盤強化を図りました。

店舗展開におきましては、パソコン専門店「アプライド」26店舗、テレビゲーム専門店「シータショップ」15店舗、化粧品・雑貨専門店「ハウス」3店舗を運営し、それぞれの専門店としての差別化を推進いたしました。特にパソコン専門店「アプライド」では、従来の個人向け販売中心の展開から、法人・ビジネスユーザー向け販売へシフトし、品揃えと店頭営業体制の切り替えを行いました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするSI営業では、販売拠点の増強とエリアの拡大および営業人員の増強を図り、技術力を活かしたプライベートブランド製品の販売を推進いたしました。卸販売を中心とした特機営業では、仕入先の開拓と商品開発に注力し、商品調達力の向上を図ると同時に、人員増強による販売チャネルの開拓を行い、売上の拡大を強力に推進いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間による売上高は60億60百万円、利益面におきましては、経常利益は13百万円、四半期純利益は10百万円となりました。

セグメント別の売上高は次の通りです。

パソコン・ゲーム事業は、専門店としての品揃え、技術サービスの提供に注力することにより、他社との差別化を図り、法人・ビジネスユーザー向け販売を強化することにより、売上高は59億28百万円となりました。

化粧品・雑貨事業は、プライベートブランド製品や差別化商品を中心とした品揃えの見直しを行い、店舗販売を強化することにより、売上高は50百万円となりました。

出版・広告事業は、販促全般に関するメディアビジネスを展開し、紙媒体およびデジタルメディアを応用した商品、サービスの提供を行うことにより、売上高は81百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ3億71百万円減少し、114億39百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少5億56百万円とたな卸資産の増加4億38百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ3億47百万円減少し、83億57百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少3億39百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ24百万円減少し、30億81百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少27百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、26.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点では平成25年5月14日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,309	1,017
受取手形及び売掛金	2,112	1,555
たな卸資産	2,663	3,102
その他	357	463
貸倒引当金	10	10
流動資産合計	6,433	6,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,563	1,528
土地	2,481	2,481
その他(純額)	97	88
有形固定資産合計	4,142	4,098
無形固定資産		
投資その他の資産	15	14
敷金及び保証金	1,018	999
その他	200	198
投資その他の資産合計	1,218	1,197
固定資産合計	5,377	5,310
資産合計	11,810	11,439

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,792	1,452
短期借入金	700	950
1年内返済予定の長期借入金	894	889
未払法人税等	17	12
賞与引当金	168	84
ポイント引当金	95	90
その他	1,072	1,135
流動負債合計	4,739	4,615
固定負債		
長期借入金	3,315	3,092
長期末払金	403	403
退職給付引当金	232	236
負ののれん	0	0
その他	14	10
固定負債合計	3,965	3,742
負債合計	8,705	8,357
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	403	403
利益剰余金	2,359	2,332
自己株式	107	107
株主資本合計	3,037	3,010
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	6
その他の包括利益累計額合計	10	6
少数株主持分	77	77
純資産合計	3,105	3,081
負債純資産合計	11,810	11,439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,481	6,060
売上原価	4,046	4,544
売上総利益	1,434	1,515
販売費及び一般管理費	1,657	1,483
営業利益又は営業損失()	223	31
営業外収益		
受取利息	2	2
受取手数料	4	3
負ののれん償却額	14	0
その他	8	6
営業外収益合計	29	11
営業外費用		
支払利息	17	14
為替差損	-	14
その他	0	0
営業外費用合計	17	29
経常利益又は経常損失()	211	13
特別損失		
固定資産除却損	-	13
特別損失合計	-	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	211	0
法人税、住民税及び事業税	6	13
法人税等調整額	22	23
法人税等合計	16	9
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	195	10
少数株主利益	0	0
四半期純利益又は四半期純損失()	195	10

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	195	10
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2	3
その他の包括利益合計	2	3
四半期包括利益	197	14
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198	14
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。